

# ふらっと.come!

平成 28年 2月 20日 第 50号

発行者 特定非営利活動法人船橋福祉相談協議会 「ふらっと船橋」  
〒273-0021 船橋市海神1-31-31 ジュネス海神101  
TEL 047-495-6777 FAX 047-495-6776  
HP <http://flat-funabashi.com/>  
Email [flat-funabashi@key.ocn.ne.jp](mailto:flat-funabashi@key.ocn.ne.jp)



## 地下鉄 A 駅

船橋市自閉症協会 会長 高尾 英彦

私が通勤で利用する地下鉄A駅で昨秋、視覚障害者がホームから線路に転落し、帰らぬ人になるという、あってはならない事故がありました。亡くなられた方とご身内の方々には、心からお悔やみを申し上げます。この駅のホームは幅が狭いうえ、ホームドアが未設置であること、併せて、鉄道を利用する各地の視覚障害者の方々が駅ホームからの転落をはじめ、日々多くの危険に晒されていることが報道されました。

事故という言葉にふれるたびに思い出すことがあります。運転免許センターで安全運転講習を受講した際のことです。安全運転の本質を、講師が受講者に問いかけました。「前に行く歩行者があなたの家族だったら、どんな運転をしますか」と。

障害者の親の会の一員である私は、まさに自分の家族を、どうかよろしくと願っているひとりです。うまくいかず、社会が、行政が、と他者を嘆くときは、私が日頃他者をどう見て何をしているか、胸に手を当てる必要があります。耳が痛いこともある問いです。

「なんでも言ってくださいね」。15年前、私たち家族の入居時にこのことばを届けてくれた向こう三軒両隣との交流が始まりました。やがて近所のお母さんたちと我が家の息子（自閉症）は、共に作りあげたユニークなやりとりで笑顔を確認めあう仲良しに。身近にある“この子の家族だったら”の心に、日々励まされます。

事故を契機に、視覚障害者の乗り降りの際に駅スタッフが介助をする仕組みづくりを、国交省が各鉄道会社に要請したと報じられました。声かけなどの協力を一般乗客にお願いするポスターも、みかけるようになりました。ホームドアの設置は、長期的な計画があるとききます。仕組みや道具ができて、主役は人の心。自閉症者の家族として、たくさんの引き出しをもっているわたしたち。たとえ他の障害に不案内であっても、“家族だったら”と思いを巡らす、心の隣人でなければと思います。

「今号より船橋障害者相談支援事業所連絡協議会 (FAS-net)

の加盟事業所紹介を掲載いたします!!!

## 出会いに感謝!

相談支援事業所 ヴェルフ藤原 佐賀 麻実子

障害者支援施設ローゼンヴィラ藤原内の相談室におります佐賀と申します。当施設では、施設入所支援・生活介護・短期入所・放課後等デイサービス等の事業を行っています。ヴェルフ藤原相談室では、主に身体障害の方や重症心身障害児者の相談支援を担当しており、日々のご相談やサービスの利用調整、情報提供等を行っています。

私が相談支援専門員になって早 10 年。これまで多くの方との出会いがありました。相談内容は生活全般に渡ることもあり、社会資源等の課題もあることから一人ひとりのニーズに十分応えられていないこともあったかもしれません。私自身も時には戸惑ったり、悩むこともありますが、「私たちの思いをプランに反映してもらえて嬉しかった」「いろいろと相談できる方ができて良かった」等の言葉をいただくと、感謝の気持ちでいっぱいになります。日頃から、ふらっと船橋のスタッフの皆様や関係者の方にご協力いただきながら、日々勉強と思い取り組んでおります。少しでも障害のある方の力になれるように、「ヴェルフ藤原に相談して良かった」と思っていただけのように努めてまいります。今後ともよろしくお願い致します。

船橋市地域活動支援センター「オアシス」です♪



施設長 住吉 則子

「オアシス」と聞いてみなさんは何を思い浮かべますか？「ヤシの木？」、「砂漠と水？」、「休むところ？」、「ほっとする所？」

地域活動支援センターオアシスは、市民の方の心のよりどころとなるように平成 8 年にオープンした、精神障害者特化の日中活動の場であり、相談支援の事業所です。

オアシスの㊦は「思いやり」㊧は「ありがとう（感謝）」㊨は「みんなが幸せ（幸福）」㊩は「スマイル・スマイル（笑顔）」と言う思いを持って日々活動しています。

お陰様で昨年 20 周年を迎えました。現在の場所は北本町の船橋市保健福祉センターの 3 階です。

今回は、障害福祉サービス等を申請した方に対しての計画相談支援の状況についてご報告します。平成 29 年 1 月現在、オアシスでは 116 名の方が利用されています。利用者様の生活希望は様々で、障害特性による色々な悩みや課題があります。ここでその一部をご紹介します。

- ・日中仕事をして生活リズムを作りたい。
- ・家族や友人、人との交流、社会とのつながりや役割を持ちたい。
- ・自分のペースを大事にしたい。
- ・体調が悪い時は家事を支援して欲しい。
- ・安定して心身共に健康に過ごしたい。
- ・仕事に向けて資格を取りたい。
- ・再入院しないようにしたい。
- ・家事の工夫や知恵を教わりたい。
- ・自宅(アパート)での生活を続けたい。

等々

計画相談を利用されている精神障害の方々のお大半は、常に体調の安定が課題です。そして、地域で落ち着いた生活を送るために、様々な支援や見守りを受けることで生活の安定を保てます。支援者には支援できる事と対応が難しい事もありますが、利用者様の夢や希望の実現に向け、共に悩み、共に考えて成長していければと思っています。今後も色々な方々にご理解とご協力をいただく事があるとは思いますが、よろしくお願い致します。

## 募集について！

ふらっと船橋では相談員を募集しております。相談支援に関心のある方をお待ちしています！

・応募にあたり資格要件に関する詳細は、直接お問い合わせ下さい。(社福・PSW・相談支援専門員 等)

・臨床心理士の募集も併せて行っております。

●採用担当： 清水まで。

## お知らせ

NPO 法人 船橋福祉相談協議会  
ふらっと船橋主催研修会

『アセスメントの重要性について』

～見立てのポイント・発達障害を中心に～

講師：ふらっと船橋相談員 臨床心理士 畠山 俊彦

日時：平成 29 年 3 月 6 日（月）13:00～16:30（12:30～受付）

場所：船橋市中央公民館 4 階 第 2 集会室

参加費 無料 <要申込み 定員先着 40 名>

- 問い合わせ・申し込み -

NPO 法人船橋福祉相談協議会 ふらっと船橋<担当 清水・正木>

TEL 047-495-6777 FAX 047-495-6776